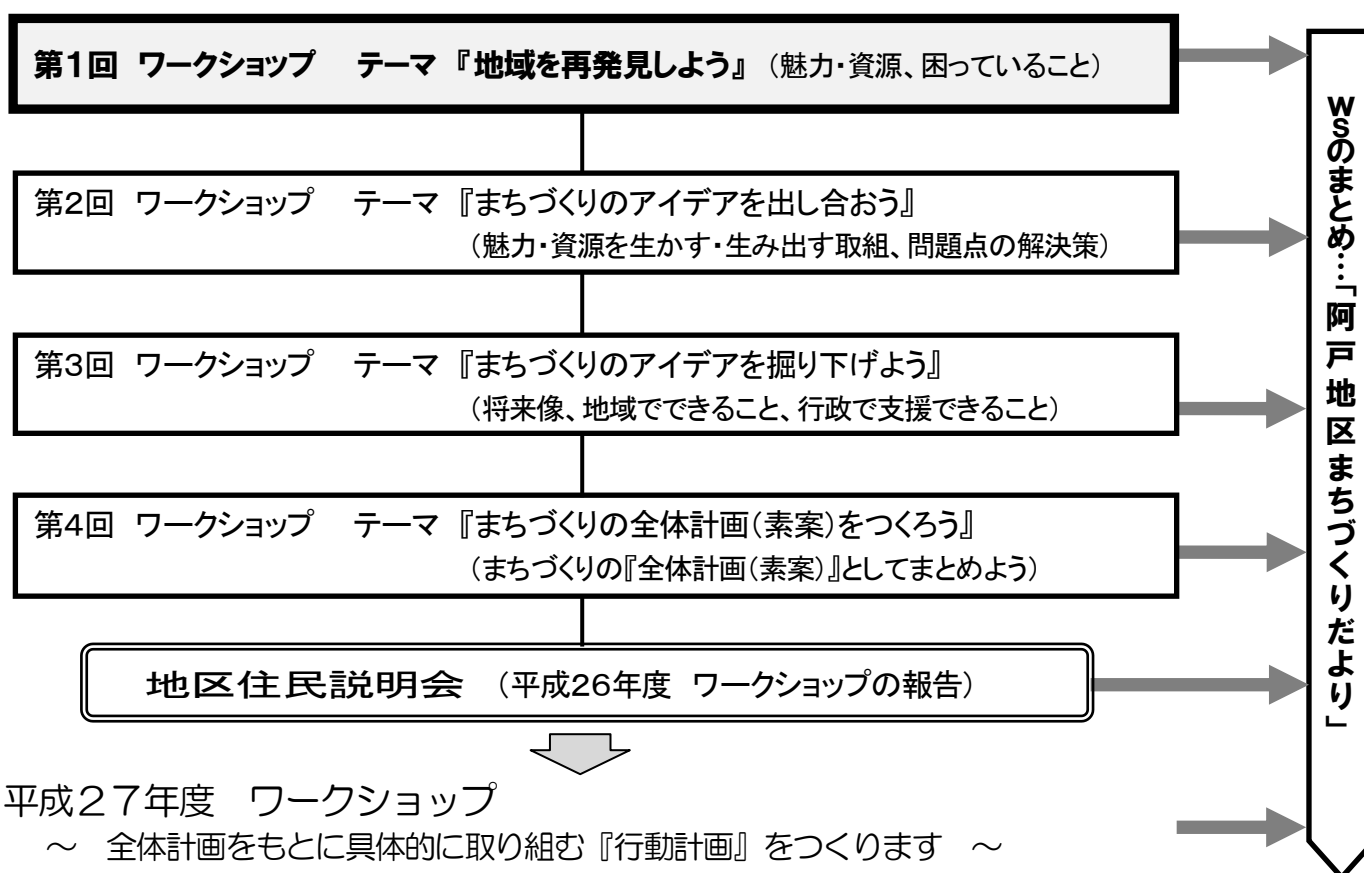


阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成(ワークショップ)の流れ(予定)

◆ 平成26年度 ワークショップ

～ まちづくりの『全体計画(素案)』をつくります ～



◆ 平成27年度 ワークショップ

～ 全体計画をもとに具体的に取組む『行動計画』をつくります ～

具体的な行動 (可能な取組は平成27年度からスタートすることも)

まちづくりに関する意見を募集しています。

まちづくりについて、日頃お感じのこと(良いところ、困っていること等々)やアイデア(例えば、地域でこんなことをしたい等々)、この「まちづくりだより」を読んでのご意見、ご感想などをお聞かせください。ワークショップで活用させていただきます。

＜ご意見・ご感想の提出方法＞

- 意見箱での受付…阿戸公民館、阿戸出張所、阿戸福祉センターの3か所に意見箱を設置しています。
- ファックス・メールでの受付…ファックス番号(082-822-8069)、メールアドレス(ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp)に直接送ってください。

※ ご意見等は無記名でかまいません。またお寄せいただいた個人情報については、地域起こし推進課で厳重に管理し、本事業以外の目的には使用しません。

問い合わせ・連絡先

安芸区役所 市民部 地域起こし推進課(担当: 松原、来栖)
電話: (082) 821-4905 FAX: (082) 822-8069 E-mail: ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp



～阿戸地区新たなまちづくりプランの作成に向けたワークショップについて～ vol. 1

平成26年8月 発行: 安芸区地域起こし推進課

『新たなまちづくりプラン』の作成への取組をスタート

阿戸地区がより住みよく、いきいきとしたまちとして持続していけるよう、阿戸地区で活動する団体の皆さまに参加していただき、地域住民自らが参加し実施できる、具体的で実行性の高い、阿戸地区の『新たなまちづくりプラン』の作成に向けた取組(ワークショップ※)をスタートさせました。

ワークショップは、平成26・27年度の2か年にわたり、計8回程度開催し、「地域の経済的な活性化、人口の維持、子育てしやすさ、高齢者の活躍」の仕組みなどについて話し合います。今年度は「全体計画(素案)」を、来年度は具体的に取組む「行動計画」をつくり、『新たなまちづくりプラン』としてまとめます。→【4頁をご覧ください】

今後、ワークショップを開催することに「阿戸地区まちづくりだより」を作成し、検討状況を地域の皆様にもお知らせします。ご意見やご感想をお聞かせください。(提出方法は4頁に掲載しています)

第1回ワークショップは『地域を再発見しよう』～魅力・資源、困っていること…～をテーマに進めました

第1回ワークショップは、平成26年7月26日(土)に阿戸公民館で行いました。

まず、「現在あるもの・ことを生かす、問題点を直す、新たなもの・ことをつくる」といった観点で、みんなが地域を知り、情報を共有するために、2つの班(A、B)で「良いところ、魅力・資源」、「問題点、困っていること」について話し合い、その結果を発表しました。
→【2、3頁をご覧ください】。



第1回ワークショップのプログラム(要点)

日時: 7月26日(土) 14:00～16:00
参加者: 住民の皆さん19人
安芸区(区長ほか)7人、進行役2人

■はじめに

- 安芸区長、連合町内会長あいさつ
- 趣旨及び進め方の説明

■地域の再発見1

- 良いところ、魅力・資源
 - ・よく知られているもの・こと
 - ・埋もれているもの・こと
 - ・生かしたいもの・こと など

■地域の再発見2

- 問題点・困っていること

■全体会

- 班ごとの発表
- まとめ、次回(第2回)について
- 事務連絡・終了

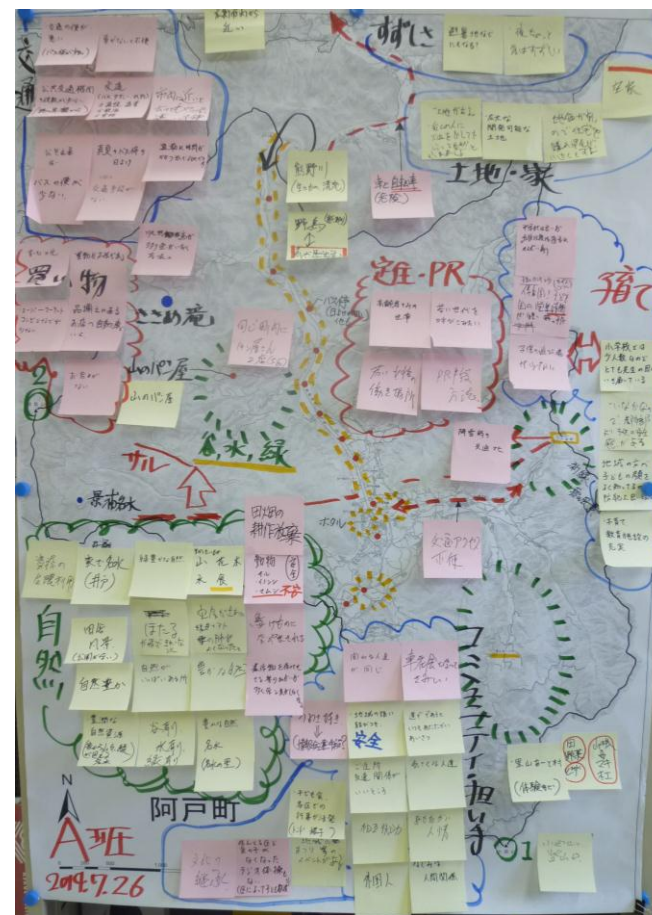


＜※ワークショップとは＞

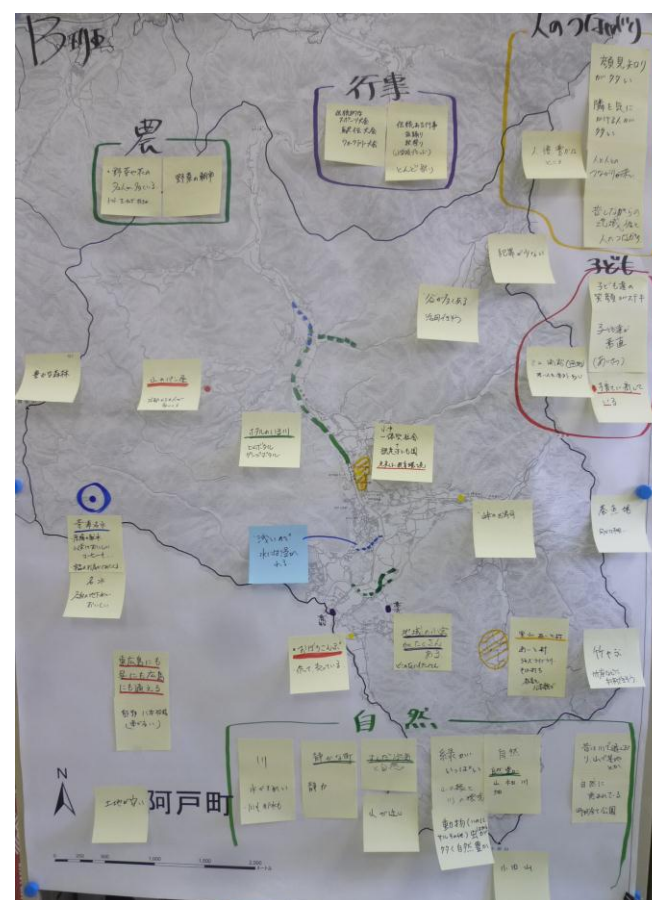
参加者が自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見・アイデアをまとめ、計画や提案などをつくること、またはその集まりのことをいいます。

第1回ワークショップのテーマ『地域を再発見しよう』… 阿戸の魅力・資源、困っていることなどが、様々な視点から出されました。

良いところ、魅力・資源	困っていること、問題点
【自然・農業など】 ○自然が豊か（山・川・水・花・木・水田、畑、豊潤な自然資源、家からの自然豊かな景観、峠付近の新緑・雪の景観）＜A・B＞ （生かしたいもの）谷あり・水あり・緑あり、広島市で一番高い山＜A＞ ○静かなまち、澄んだ空気、緑がいっぱい、山の緑、山が近い、生き物が多く自然豊か＜B＞ ○熊野川、川がきれい（清流）、生き物、ホタルのいる川＜A・B＞ ○空気がきれい（引っ越してきて体調が良くなった）＜A＞ ○名水（景浦名水など）、名水の里、自宅の井戸が“名水”＜A・B＞ ○谷が多くある（活用できそう）、竹林（竹炭に利用できそう）＜B＞ ○昔は川や山で遊んだ＜B＞ ○山の資源（マキ、木工）、資源の循環利用＜A＞ ○野菜や花づくりの名人が多くいる＜B＞ ○野菜の朝市＜B＞ など 【コミュニティ、人のつながり】 ○昔ながらの地域の強い結びつき（安全・安心）、人情が豊か、気さくな人々、相互扶助、近所づきあい＜A・B＞ ○犯罪が少ない ＜B＞ ○子ども会や各地区での行事（スポーツ大会、駅伝大会、ウォークラリー）＜A・B＞ ○伝統ある行事（盆踊り、秋祭り、とんど、亥の子）＜A・B＞ など 【子育て・教育環境】 ○少人数で目が届いた教育、子育て・教育施設の充実＜A＞ ○小中一体型校舎＋認定子ども園（充実した教育・子育て環境）＜B＞ ○安全・安心な子育て環境、地域の人々が子どもを知っている（防犯面でもプラス）＜A＞ ○子どもたちの笑顔、素直さ（あいさつ）＜B＞ など 【その他】 ○活用できる土地（畑を借りるなど）、広大な開発可能な土地、地価が安い＜A＞ ○広島市内（市街地、中心部）から比較的近い＜A＞ ○東広島にも呉にも広島にも通える ＜B＞ ○夏涼しい→避暑地になる条件＜A＞ ○ミニ開発で若い人も案外多い＜B＞ ○里山あーと村＜A・B＞ ○養魚場、小さいお宮が多くある＜B＞ ○山のパン屋、おぼろ昆布、峠のお寿司＜A・B＞ など	【自然・農業など】 △有害鳥獣による被害・不安（サル、シカ・イノシシ、ヌートリア・マムシなど） 農作物をつくっても鳥獣被害で、つくる意欲がなくなる ＜A・B＞ △管理されていない山林が多い、除草が大変（道路や耕作地沿い）＜B＞ △耕作放棄地が増えている、農業の担い手がいない（農業従事者が高齢化）＜B＞ △野鳥などで熊野川の魚が少なくなっている ＜A＞ など 【道路・交通】 △公共交通の便が悪い、バスの便が悪い＜A・B＞ △道路の整備が不十分（県道は歩道のない区間、狭い区間があり、通学の自転車は特に危険）＜A・B＞ △冬季の交通が不安、降雪時には交通マヒ（峠など）＜A・B＞ △朝夕の交通量が多くて危険（特に子どもの通学）＜B＞ など 【買い物】 △スーパーやコンビニなどが少ない（ない）、買い物が不便 →品揃えのある店に車で行く＜A・B＞ など 【子育て・教育環境】 △高校に通うには制約が大きい（距離）＜A＞ △保育園・認定子ども園の保育時間＜A＞ △豊かな自然はあるが、子どもが安心して遊べる場所が少ない（見る自然ばかり）＜A・B＞ △公園がない、整備が中途半端（福祉センター前の護岸・水辺）＜B＞ など 【生活・その他】 △高齢者のみの世帯が増加＜A＞ △若い世代を呼び込む必要＜A＞ △有線放送がない、小児科や産科が遠い、病院がなく外に出て行く（空き家）＜B＞ △人が少ない、少子高齢化が進んでいる＜A＞ △若者（特に若い女性）が仕事をする場が少ない＜A・B＞ △様々な活動、ボランティアの担い手が少ない（同じメンバーになりがち）＜B＞ △昔ながらの社会＜B＞ など ※＜A＞…主にA班での意見 ＜B＞…主にB班での意見 ＜A・B＞…A・B両班での意見



A班の成果（マップに意見を一体整理）



B班の成果（マップ）



A班の作業風景



B班の作業風景



A班の発表風景



B班の発表風景



B班の成果（問題点等はを模造紙に整理）